

要請番号 (JL51516B16)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	D235 自動車整備		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/2 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ラモギ技術専門学校

3) 任地 (キスム) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 7.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先(以下RIAT)は1976年に設立された技術専門学校。中等教育終了資格を有する者が入学できる。自動車整備、電気電子、土木建築、家政、木工、溶接、裁縫、観光業などの長期コースのほか、3ヶ月未満の短期コースなどを開設している。生徒数約750名。教師数約100名。
青年海外協力隊は1990年代に漁業生産、電子機器の隊員を受け入れたほか、最近では自動車整備隊員(平成25年度4次隊)を受け入れた。そのほか、米国平和部隊(ピースコー)を受け入れた実績がある。また、2011年にはオランダから機材の供与を受けた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ケニアでは日本車が多く走っている。その80~90%が日本の中古車と言われるほどである。自動車の輸入規制(古い車両は輸入しない)もあり、比較的新しい車両もよく見られる。日本車は丈夫で壊れにくいので好まれ、ブランドでは特にトヨタ車の人気が高い。
こうした状況の中、RIATでは職業教育レベルを向上させるべく、実習等の新設、機材の導入が行われている。しかし、新型車輛(特に日本車)の知識を正しく伝えられる人材が不足しており、特に実習授業における教育レベルの向上が求められている。ボランティアは生徒に対して授業を実施するだけでなく、同僚教師に対しての技術指導も求められる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

現地のニーズに基づき、以下のような活動が想定される。

- 1.同僚教師数名と組んで実習授業を行なう。
- 2.不具合の出た車両がRIATまで運ばれて来ることがある。そのような機会を利用してトラブルシュートの演習を行なう。
- 3.カーオーナーに対する車両の無料点検、無料アドバイスなどのイベントに協力する。
- 4.日本語で書かれているマニュアル類を英語に翻訳する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

工具一式、実習車(中国製)、実習用バイク(2台)、実習用エンジン(可動)日産A12,L16(不動)トヨタ4A-FE、いすゞ製ディーゼルエンジン、外部診断機:Auto Boss V30

4) 配属先同僚及び活動対象者

RIAT全体では生徒が約750名ほどいる。自動車整備科は教師8名(30~50代)、生徒約20名(20~25歳)がいる。授業は1日あたり6時間行われている。前述の青年海外協力隊員(自動車整備)は安全管理を徹底した指導にあたった。

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(2級整備士 (G・D))

[学歴]：(専門学校卒) 備考：ディプロマの生徒を指導
するため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：同僚と同じレベル

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯気候) 気温：(15～35℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】